

事業者名: 千代むすび酒造株式会社

■本社所在地: 鳥取県境港市大正町131

■TEL: 0859-42-3191

取組テーマ: 持続可能な社会の実現

■事業概要 (自社の技術・製品・サービスなど、主な事業について記載)

1865年(慶応元年)創業。

日本酒、焼酎、リキュール、スピリッツ、ウイスキー、ノンアルコール糖甘酒製造。

■2030年に目指す姿 (現状を起点とした目標設定ではなく、SDGs 実現に向けた自社のあるべき姿を検討し、記載)

鳥取県境港市唯一の酒蔵である弊社は、地域の繋がりを大切に、単に自社のみの利益を追求するのではなく、「地域になくてはならない会社」を目指しています。

全国で最も人口の少ない鳥取県が持続可能な地域であり続けるためには、県外、海外へ鳥取県産のものを販売していくとともに、インバウンドも含めて多くの方に鳥取県を訪れてもらうことが大切であると考えています。そのためにはこの地域の魅力を真剣に考え、効果的に情報を発信することで、鳥取県内で楽しんでいただくツーリズムを構築していくことが必要であると思います。そのツーリズムの中の一つに伝統的な酒蔵が加わることで魅力を創出できると考えます。

また、5年前から取り組んでいる農業(酒米作り)にも積極参入し、原料生産・原料加工・販売の6次化にも引き続き取り組んでいきます。地元の農家の方と質の高い原料作りを徹底的に追求し、付加価値の高い加工品(日本酒等)を生み出していきます。また、加工品製造においても、甘酒を使用した低糖質パン、地元のイチゴを使用したイチゴ甘酒など、自社のみでは完結できない商業連携を生み出していくことで、おのずと「地域になくてはならない会社」へ近づいていくことができると考えています。世界的な気候変動がある状況を考え、2030年のカーボンニュートラルを目指します。具体的には太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用や、自社で排出する温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。安心・安全なエネルギーの利用を前提に、弊社で生み出す安心・安全な発酵商品を通じて世界中の人々が幸せになることを目指していきます。

■SDGsの取組のPRポイント

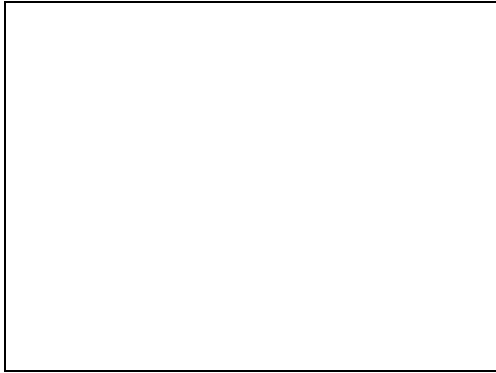
(目指す姿の実現に向けた取組として、特にPRしたい内容を簡潔明瞭に記載。図や写真等も貼付可。)

特に目指すのは、鳥取県や住み暮らす地域が将来にわたって持続可能な地域であり続けること。加工品を製造するメーカーとして、製造する上で生まれる副産物(米糠、酒粕、麦芽粕等)を余すことなく、廃棄することなくアップサイクルとして世の中に還元していく仕組みを構築することで、副産物の廃棄ゼロを目指していく。

■3側面の重点的取組

(重点的に取り組む項目を太字とし、現状と今後の目標・取組を記載)

社会			
◆多様な働き方の促進 (現状) フレックス勤務、短時間勤務など、働く人のニーズに合った勤務時間を柔軟に対応している。 (今後の取組み) ニートや学校に通えていない方の社会活動支援として、週に数回勤務など、フレキシブルに対応し、1億人総活躍と、社会全体の労働力の底上げに寄与する。地産地消などツーリズムに酒蔵が加わることを目指す。	認証申請した項目に○印	労働災害の防止 ○ ハラスメントの防止 ○ 女性の活躍 ○ 障がい者雇用 ○ 多様な人材の活躍 ○ 多様な働き方の促進 ○ 労働者の人権配慮 ○ 社会配慮商品・サービス ○ 地産地消 ○ 地域社会への貢献 ○ +	
	経済		
	◆市場変化への対応 (現状) 20代、30代など次なる世代のインフルエンサーを活用し、次世代の消費者へ訴えかけている。 (今後の取組み) 現代の若者の価値観に寄り添い、本当に必要な生産物、サービスは何なのを突き詰めて、社会に必要とされるサービスを提供する。	認証申請した項目に○印	BCP策定 ○ セキュリティ対策 ○ 法令遵守の取組徹底 ○ 情報公開 ○ 後継者の確保 ○ 市場変化への対応 ○ 経営資源活用 ○ デジタル化・生産性向上 ○ 雇用の維持・拡大 ○ 人材育成・能力開発 ○ +



環境		
認 証 申 請 し た 項 目 に ○ 印	◆自社の気候変動リスク (現状) 毎年の高温障害により、酒米の収 量減少、品質劣化に対して、技術 力等でカバーし製造している。	○
	(今後の取組み) 酒米の生産地自体の北上化や、 海外での生産などを視野に入 れ、具体的に生産農家候補を決 めて、動き出す。	○
	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	
	燃料消費量の削減	○
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	○
環境配慮型商品・サービス		
環境面での社会貢献		
+		

■トレードオフの分析

(上記重点的取組を推進した際に、トレードオフ(代償)としてどのような負の影響が生じるか、またそのことにどう対処していくか分析を記載)

- ・多様な働き方を推進することで、会社全体としての勤務の効率化とは逆行する。対策としては、同様の作業でも作業時間を短縮できるような設備投資を行い、対応する。
- ・市場変化への対応を行うことで、現在の愛飲者世代(50代~70代)のニーズとはかけ離れた商品開発が進む可能性がある。対策としては、年代別のニーズに合わせた商品開発を行い、現在のファンも日本酒業界から離れないようにする。
- ・酒米生産地を北上させていくことで、地元の農家の方が酒米作りを辞めていくリスクがある。対策として、地元では背丈が短い酒米の品種改良や、育種期間の短期化をできるような開発を農場試験場と一緒に進め、地元でも育てることができる品種を作る。

(様式第2号) とっとりSDGs企業認証 チェックシート [2024年3月改正版]

(企業名: 千代むすび酒造株式会社)

色付きのセルのみ入力してください

社会	8	○
経済	9	○
環境	6	○
合計	23	○

(○となった取組項目数とその各側面の判定)

(各側面で○となった取組項目数の合計と全体の判定)

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組	
社会1	労働災害の防止				○				
社会1			[KPI] 労働災害の年間発生件数	✓		0件	労働災害発生0件	労働災害発生0件を目指す。	
社会1			労働安全衛生に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					[1年目] ・社内の危険箇所を全て把握する。 [2年目] ・安全対策のマニュアルに向けた項目をリストアップする。 [3年目] ・安全対策項目のリストを社内で共有する。	
社会1			安全衛生委員会の設置など、社内体制を整備している						
社会1		★	安全対策のルールやマニュアルなどを整備している	✓		フォークリフトでの作業時は、ヘルメット着用することを徹底している。製造設備の使用時は、指差し確認を徹底している。			
社会1		★	危険箇所・ヒヤリハットの情報収集、実態把握を行っている	✓		酒蔵内のヒヤリハットについては、月一度の幹部会議や、月一度の部署長会議で、経営層も把握している。			
社会1			労災防止のための具体的な施設・設備の導入・改善を行っている	✓		2024年夏に、酒蔵内の足場を、落下防止となるように整備済。	安全対策のマニュアルを作成する。		
社会1			労働安全衛生に関する研修を行っている	✓		労働安全協会主催の研修を受講しており、週一度の全体朝礼の機会に、全社員に伝達している。			
社会1			安全意識を醸成する外部の活動に参加している	✓		労働安全協会主催の研修を受講しており、週一度の全体朝礼の機会に、全社員に伝達している。			
社会1			ISO45001などの労働安全衛生マネジメントシステム認証を取得している						
社会1			取引先において労災を誘発しないよう取引条件等に配慮している						
社会1			その他(※法令の規定への対応は対象外)						
社会2	ハラスメントの防止				-				
社会3	女性の活躍				○				
社会3		★	[KPI] 全従業員に対する女性従業員の割合	✓		50% (女性従業員数21人)	50%	変わらない。	
社会3		★	[KPI] 管理職に占める女性労働者の割合	✓		20% (女性管理職2人/全管理職員数10人)	30%	女性の管理職登用も柔軟に考える。	
社会3			[KPI] 男性従業員賃金の平均額に対する女性従業員賃金の平均額の割合						
社会3		★	[KPI] 男性従業員の育児休業等取得率	✓		5%	20%	希望者があれば取得しやすい環境を整える。	
社会3			女性の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					[1年目] ・育児に対して理解があることを社内共有する。 [2年目] ・女性の役職登用を検討する。 [3年目] ・女性の役職登用を実施する。	
社会3			女性の活躍について、会社の方針を表明している						
社会3		★	育児・介護に配慮した柔軟な勤務形態導入などの規程を整備している	✓		育児休業、介護休業を取得できることを、定款に記載している。			
社会3		★	自社の女性の活躍について、アンケート等により実態や課題を把握し分析している	✓		半年に一度、社員全員に個別面談し、実態把握している。	女性の活躍について、アンケートを実施する。		
社会3			必要な施設・設備の導入、改善を行っている	✓		瓶詰め、ラベル貼りなど女性の多い部門において、自動機械など投資を行っており、働きやすい設備導入を常に検討、実施している。			
社会3			女性のキャリアアップに向けた研修の実施や、外部研修への参加を推奨している	✓		取引銀行から案内の外部研修など社内で共有している。			
社会3			県の輝く女性活躍/パワーアップ企業、国のえるばし認定等に登録されている						
社会3			その他(※法令の規定への対応は対象外)						
社会4	障がい者が働きやすい職場づくり				-				
社会5	多様な人材の活躍		※女性、障がい者以外の取組を記載、採用活動の記載は不要		○				
社会5			[KPI] 中途採用比率	✓		90%	90%	90%	
社会5			[KPI] 離職率または離職者数						
社会5			[KPI] 外国籍の社員数			0人			
社会5			[KPI] 65歳以上の社員数	✓		2名	目標: 1名	65歳以上の方も継続的に勤務できるようにする。	
社会5			多様な人材の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている(※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)					[1年目] ・経営層は多様な人材との会話を行う。 [2年目] ・経営層は多様な人材との会話を行う。 [3年目] ・経営層は多様な人材との会話を行う。	
社会5			多様な人材(属性、キャリア・経験など)の活躍について、会社の方針を表明している(※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)						
社会5		★	経営層は、多様な人材との対話や、課題の把握・解決を実践している	✓		半年に一度、社員全員に個別面談し、実態把握している。	従前より中途採用者は積極的に採用し、非正規雇用者の社員登用も積極的に進めている。		
社会5			同一労働同一賃金に基づく待遇格差解消に取り組んでいる	✓		待遇格差解消は、経営層も現場作業に入ることにより常に実態把握に努めており、待遇格差が怒らないように徹底している。			
社会5		★	非正規労働者の正規への転換など、非正規労働者の処遇改善を推進している	✓		非正規労働者について社員登用の希望があるかどうかは、半年に一度の個別面談で実態を把握しており、希望する場合は積極的に登用している。			
社会5			高齢者の特性に応じた仕事内容の工夫や施設整備・設備導入を行っている						
社会5			外国人労働者の受け入れに関する体制づくりを行っている						
社会5			その他(※法令の規定への対応は対象外)						
社会6	多様な働き方の促進				○				
社会6			[KPI] ひとあたりの労働者の平均残業時間	✓		1ヶ月の平均残業時間: 15時間	1ヶ月の平均残業時間 目標: 10時間以内		瓶詰め作業の自動化などを進め、効率化を行い、残業時間を削減する。
社会6			[KPI] 年次有給休暇の取得率	✓		100%	100%	100%	
社会6			多様な働き方に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					[1年目] ・従業員への実態把握を行い、望んでいる働き方に沿うように心がける。 [2年目] ・従業員への実態把握を行い、望んでいる働き方に沿うように心がける。 [3年目] ・従業員への実態把握を行い、望んでいる働き方に沿うように心がける。	
社会6			健康経営を経営方針として位置付けている						
社会6			管理職の人事評価に、部下の残業時間や有給休暇取得状況を関連付けている						
社会6			上記以外の休暇を取得しやすい独自の仕組みを設けている	✓		リフレッシュ休暇など、制度を設け、取得を促している。			
社会6		★	フレックスタイムや在宅勤務、短時間勤務など柔軟な働き方に関する制度を設けている	✓		積極的にフレックス勤務、短時間勤務など採用している。	変わらずに、フレックス勤務や短時間勤務などニーズに合わせてフレキシブルな対応を行う。		
社会6			従業員の副業を認めている						
社会6		★	従業員へのヒアリングなどにより、課題等の実態把握を行っている	✓		半年に一度の全社員との面談時のほか、日常的に従業員と会話して、課題の実態把握を行っている。			
社会6			その他(※法令の規定への対応は対象外)						

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会7	労働者への人権配慮				○			
社会7		★	「ビジネスと人権」に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		取引銀行等からの助言や、外部研修を経営層が受けている。	変わらなずに対応を行う。	【1年目】 ・変わらなずに対応を行う。 【2年目】 ・変わらなずに対応を行う。 【3年目】 ・変わらなずに対応を行う。
社会7		人権方針（人権ポリシー）を作成・公開している						
社会7		管理的地位にある従業員に対して、意識啓発や研修を行っている	✓		役員、部署長など管理的地位にある従業員については、日本創造教育研究所が開催する自己啓発セミナーなど、外部研修に参加している。			
社会7		★ 雇用契約書の締結、または、労働条件通知書を交付している	✓		行っている。			
社会7		人権関連トラブルについて、従業員や取引先向けアンケートや相談窓口設置を行っている						
社会7		取引先において強制労働、児童労働が排除されていることを確認している						
社会7		その他（※法令の規定への対応は対象外）						
社会8	社会配慮型商品・サービスの提供		※環境に関する内容は環境9に記載		○			
社会8			少数派や社会的弱者に配慮した商品・サービスの開発・提供を行っている				変わらなずに対応を行う。	【1年目】 ・変わらなずに対応を行う。 【2年目】 ・変わらなずに対応を行う。 【3年目】 ・変わらなずに対応を行う。
社会8		上記以外の社会課題解決型の商品・サービスの開発・提供を行っている						
社会8		商品・サービスの開発・提供にあたり、利用者の安全性に配慮している	✓		商品管理時の検品など、利用者の皆様に安全な商品となっているかどうか、現場で1本1本最終チェックを行ってから、出荷をしている。			
社会8		利用者からの意見・要望を取り入れるための窓口を設けている	✓		オンラインストアのお問い合わせ、HPのお問い合わせフォームなど、利用者からの要望は常にお聞きし、対応している。また、酒蔵見学など、酒蔵に來社されたお客様からのアンケートをいただくようにしており、常にご要望をお聞きする仕組みを整えている。			
社会9	地産地消				○			
社会9			[KPI] 県内事業者からの調達率	✓		70%（金額ベース）	70%	70%
社会9			地域産業の発展や地域の事業者との共存共栄を経営方針に位置付けている	✓		単に原料（酒米中心）を仕入れるのみにとどまらず、酒米農家の皆様と定期的に現地園場での研修、意見交換会を実施し、良質な原料を作るためや、いかに共存共栄できるかについて真剣に議論し、取り組みの方向性を確認し合っている。	引き続き、地元産品重視で加工品製造を行う。	【1年目】 ・地元産品重視で製造する。 【2年目】 ・地元産品重視で製造する。 【3年目】 ・地元産品重視で製造する。
社会9		パートナーシップ構築宣言を行っている	✓		2024年3月、宣言済。			
社会9		地元事業者から、積極的・優先的に仕入れている	✓		原料のお米のみならず、リキュール用の果汁も含め、県内事業者からの仕入を優先している。			
社会9		地域資源・地元産品を活用した商品・サービスを開発・提供している	✓		日本酒、秬甘酒など、地元産品を加工して商品完成している。			
社会9		「食パラダイス鳥取県」アンバサダーに登録している						
社会9		その他						
社会10	地域社会への貢献		※ビジネスとしての活動は社会8、環境に関するものは環境10に記載		○			
社会10			地元自治会との交流イベント主催、防災訓練への参加など、地域活性化の取組を行っている	✓		全国有数の観光地である水木しげるロードに位置しており、水木しげるロード振興会にも加盟し、千代むすび酒造の岡空晴夫社長は同会の副会長を務めている。常に、地域と一緒に、盛り上げていくイベントなどの企画、運営に携わっている。	観光地に位置し「水木しげるロード振興会」に加盟するなど、地元との関わりは常に意識し、活動もしている。	【1年目】 ・地域との共存共栄を意識し、活動する。 【2年目】 ・地域との共存共栄を意識し、活動する。 【3年目】 ・地域との共存共栄を意識し、活動する。
社会10		地域の学校における社会教育活動に協力している						
社会10		地域の自治体や学校、福祉団体等への寄附や寄贈を行っている	✓		消毒用アルコールなど、自治体、学校等への寄附を行っている。			
社会10		災害時等に、地域住民に対して物資や避難場所の提供等を行っている又は同様の取組に係る地域防災協定を締結している						
社会10		★ 「あいサポート企業」登録など、障がいの有無に関わらず尊重しあう社会づくりに参画している	✓		あいサポート企業に登録済みであり、社内で障がいをお持ちの方への適切な対応ができるように、境港社会福祉協議会の方もお呼びして講師をしていただき研修もしている。			
社会10		通勤、出張時の公共交通機関利用を促進するなど、地域交通機関の維持に貢献している						
社会10		その他						
社会+			※社会1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			
経済1	事業継続計画（BCP）の策定		※自社自身の取組を記載（他者の支援は社会8または10で記載）		○			
経済1		★	BCPを策定している	✓		BCP策定済。	様々な事業リスクは常に変化するため、常に対策をアップデートしていく。	【1年目】 ・BCPの見直し行う。 【2年目】 ・BCPの見直し行う。 【3年目】 ・BCPの見直し行う。
経済1		BCPに沿った訓練を実施し、有用性を検証している	✓		消防訓練など、毎年実施している。			
経済1		策定したBCPや訓練の結果に基づき、仕組みづくり、設備導入等の対策を行っている						
経済1		有用性を確保するため、定期的にBCPを見直ししている						
経済1		サイバーセキュリティや新型コロナウイルスなど、新たな脅威を把握しリスクの分析を行っている	✓		サイバーセキュリティ対策はアップデートして、適切な投資はしている。3Dセキュリティも対応済。			
経済1		その他						
経済2	セキュリティ対策				○			
経済2			セキュリティについて、専門機関の診断・指導を受けている				外部からの侵入リスクについて、リアル、オンラインともに常にアップデートしていく。	【1年目】 ・セキュリティ上のリスク排除を常に行う。 【2年目】 ・セキュリティ上のリスク排除を常に行う。 【3年目】 ・セキュリティ上のリスク排除を常に行う。
経済2		取引先や運送・清掃業者など、建物に出入りする者のセキュリティ上のルールを整備している	✓		出入り業者の手指消毒、手洗いの徹底、出入り記録の記入など行っている。			
経済2		★ 個人情報や機密情報の入手、利用、保管、提供、消去等の取扱ルールを設けている	✓		不要な顧客情報は机上に置かず、シュレッダーすることを徹底している。			
経済2		情報セキュリティに関する管理者や専門部署を設置している						
経済2		経営層や従業員に対して、専門家によるセキュリティ研修を行っている						
経済2		★ ウイルス対策ソフトの導入やOS等の定期的な更新している	✓		外部からのウイルス侵入リスクに対してのセキュリティ対策は常にアップデートしている。			
経済2		重要な情報については、アクセス制限を行っている	✓		会社事務所については、アクセス制限を行っている。			
経済2		ISMS認証やPマークなどを取得している						
経済2		その他、具体的なセキュリティ対策を実施している						
経済3	法令順守の取組の徹底（必須）				○			
経済3			コンプライアンスに関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている				今後はコンプライアンスマニュアルを作成予定。	【1年目】 ・コンプライアンスマニュアル作成に向けた動き出しを行う。 【2年目】 ・コンプライアンスマニュアルの項目を洗い出す。 【3年目】 ・コンプライアンスマニュアルの雛形を作成する。
経済3			経営トップが、法令順守することについて、社内外にメッセージを発信している					
経済3		★	自社事業に関わる法令を把握・社内共有し、遵守している	✓		酒造関連などの関係法令については、都度社内での情報共有ツールで共有して、遵守している。		
経済3			コンプライアンス委員会の設置など、チェック体制を設けている					
経済3			公益通報制度（内部通報制度）を整備している					
経済3		★	コンプライアンスマニュアルなどの社内規定の作成し、社内に周知している	✓		業務について必要なマニュアルは都度作成し、事務所への貼り出しや、社内ですべて閲覧できるようにしている。		
経済3			従業員に対するコンプライアンス研修を実施している	✓		年に一度の経営計画発表会等で、コンプライアンスについて経営トップより皆に共有している。		
経済3			その他（※法令の規定への対応は対象外）					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
経済4	情報公開				○			
経済4			地域住民に影響を及ぼす可能性のある事業活動について、関係自治体や地域住民への情報提供など、適切なコミュニケーションを行っている	✓		年に一度、「酒蔵開放」イベントを主催。騒音、交通など地域へのご迷惑とならないように、参加の皆様にも節度ある行動を声かけし、徹底している。	会社の情報、採用情報など常に外部へ公開し、開かれた会社運営を行う。	【1年目】 ・就職セミナー等、常にブース出展する。 【2年目】 ・就職セミナー等、常にブース出展する。 【3年目】 ・就職セミナー等、常にブース出展する。
経済4		就職を希望する者に対して、人事労務や就労実態等に関する情報提供を行っている	✓		地元での就職セミナーに常にブース出展し、経営層が自ら説明を行っている。			
経済4		情報提供にあたっては、多様な利用者や利用環境（アクセシビリティ）に配慮した情報提供を行っている						
経済4		消費者や取引先からの情報開示の問い合わせに対する対応方針を策定し、適切に対応している						
経済4		消費者や取引先に影響のある情報漏洩や品質問題などの公表基準を設け、適切に運用している						
経済4		会社としての公式ホームページやSNSを有し、定期的に情報発信している	✓		会社のHP、SNSを有し、毎週アップデートしている。			
経済4		その他（※法令の規定への対応は対象外）						
経済5	後継者の確保				○			
経済5		★	<代表者が60歳以上の場合>円滑に事業承継を進めるため、相談機関や専門家等に相談するなど具体的な取組を行っている	✓		2025年、事業承継予定であり、税理士等に相談を行っている。	6代目に就任する岡空聡を中心として、創業200年に向けた体制を構築していく。	【1年目】 ・2025年、社長交代。 【2年目】 ・社長交代後の体制を構築する。 【3年目】 ・社長交代後の体制を確立していく。
経済5		適性のある後継者候補を選定している	✓		常務取締役が、社長に就任予定。（42歳）			
経済5		会社の資産や月次の資金繰り、株式の保有状況、経営者保証の状況など、経営状況、経営課題等を後継者候補が把握している	✓		月次、年次の資金繰り等は後継者が既に作成しており、経営状況は十分に把握している。			
経済5		代表者一人に依存しない、経営体制を構築している	✓		常務取締役、取締役が積極的に経営に関与しており、複数人で経営する体制は構築できている。			
経済5		事故や病気など、経営者の有事の際の対応方針を役員や従業員と共有している						
経済5		その他						
経済6	市場変化を見据えた対応				○			
経済6			自社事業に影響を及ぼし得る、顧客のライフスタイル、価値観の変化を把握し、分析している	✓		現在のコアな顧客層（50代～60代）のみでなく、これからの顧客層20代～30代のライフスタイル、価値観を感じるよう行動している。具体的には、20代～30代を積極的に採用し、個別面談をすることにより、若手世代のライフスタイルを把握している。	情報発信はHPのみでなく、Tik Tokなど、これからの顧客層の価値観に合う形で発信をしていく。	【1年目】 ・20代のライフスタイルを理解する。 【2年目】 ・次世代に合った商品を開発する。 【3年目】 ・次世代に合った商品をリリースする。
経済6		今後見込まれる法令改正や規制緩和がもたらす自社事業への影響を把握し、分析している	✓		日本酒製造の新規免許などの規制緩和の可能性があり、今までの価値観に固執することなく、オープンな発想で物事を捉えて行動している。			
経済6		上記変化を踏まえた自社の商品・サービス、事業領域の見直しを行っている						
経済7	自社以外の経営資源活用		※グループ企業間での取組は対象外		-			
経済8	デジタル化による生産性向上				○			
経済8			[KPI] 労働生産性（付加価値額÷従業員数）					
経済8			専門家から助言・指導を受けながら、経営層が主体となってデジタル化・DXを進めている				今後は取引先からの受発注を、FAX、電話ではなく、システム受発注とするよう、システム構築する。	【1年目】 ・デジタル受発注の検討。 【2年目】 ・デジタル受発注の検討。 【3年目】 ・デジタル受発注のシステム投資を検討。
経済8		デジタル化・DXに関する計画や方針を策定している				常務取締役を中心にデジタル化の体制を構築している。		
経済8		デジタル化を推進する専用の部署や人材など、体制づくりを行っている	✓			従前は紙媒体での管理であったが、在庫管理、受注管理、酒税申告など全てシステム化した。		
経済8		営業・仕入れ・販売・開発・製造管理など、個別業務のデジタル化を行っている	✓			製造→管理→販売など、各部署が連携する上で、システム化し、効率的に業務を行っている。		
経済8		業務間のデータを連携し社会的なデジタル化による業務変革・DXを進めている	✓					
経済8		顧客・取引先との接点業務など各種業務におけるデジタル技術の活用状況を分析し、運用改善を行っている						
経済8		新たな価値や顧客創出に向け、AI、ビッグデータ等を活用している						
経済8		その他						
経済9	雇用の維持・拡大		※採用活動そのものは対象外		○			
経済9		★	[KPI] 従業員数	✓		50人	60人	新卒の積極採用。
経済9			採用後にミスマッチが起きないよう、インターンシップや内定後のフォローアップなどを行っている	✓		インターンシップは短期コース（3日）、長期コース（1ヶ月）など積極的に受入れている。		【1年目】 ・新卒1名採用。 【2年目】 ・新卒2名採用。 【3年目】 ・新卒3名採用。
経済9			会社の成長・発展に向けた事業転換や経営の多角化、設備投資を行っている	✓		醸造酒のみに偏ることなく、ウイスキーをはじめとした蒸留酒部門にも積極投資し、事業展開している。		学生インターンシップも積極的に受入、毎年、新卒学生の採用を行う。
経済9			新規出店や商圏拡大、M&Aなどの事業拡大に取り組んでいる					
経済9			事業転換や多角化、商圏拡大などの方針を踏まえた人材のスキル転換、処遇改善、採用活動を行っている					
経済9			人材確保のため、物価上昇率なども勘案し、賃上げ（ベースアップ）を行っている	✓		物価上昇を上回る賃上げ、賞与支給等を積極的に行っている。		
経済9			離職防止、ES向上に向けた取組を行っている					
経済9			その他					
経済10	人材育成・能力開発				○			
経済10			経営層関与の下、従業員の能力向上に向け、一定の予算を確保し、人材育成に取り組む方針を示している	✓		日本創造教育研究所の外部研修に参加し、OFF JTを行っている。	入社、1年間の研修カリキュラムを策定できるようにする。	【1年目】 ・入社後の3ヶ月間は研修期間として指導役をつける。 【2年目】 ・OFF JTに全員が参加できる体制を構築する。 【3年目】 ・外部研修を受けた者が、社内研修を開催できるように育てる。
経済10			業務に必要なスキルマップを作成・更新している					
経済10			従業員のスキルを定期的に把握し、能力開発計画を策定・更新している					
経済10			外部研修への参加やeラーニングの活用を奨励し、積極的に受講させている	✓		外部研修の機会は、社内情報共有ツールで情報共有している。各部署から参加希望者がいるかどうかは、部署長にとりまどめてもらっている。		
経済10			OJTの質の向上に向けた業務内容のマニュアル化やマニュアルの見直し、トレーナー教育を行っている					
経済10			ジョブローテーションにより、計画的に従業員のスキルアップ・多能工化を図っている	✓		1つの部署に偏ることなく、適切なタイミングでジョブローテーションを行っている。		
経済10			能力の向上を人事評価や処遇に反映させる仕組みを設けている					
経済10			従業員の資格取得を推奨し、要する費用を支援している	✓		日本ソムリエ協会の「SAKE DIPLOMA」など、毎年受験を促し、自己啓発への費用負担もしている。		
経済10			その他					
経済+			※経済1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			
環境1	自然環境の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策①】		○	分析・検討内容を記載		
環境1		★	リスクを特定している（気候変動による災害リスクの主なもの 急性リスク：洪水、台風、自然火災等／慢性リスク：海面上昇、高温、水不足等）	✓		高温障害による、原料（米）の不作、品質劣化。	酒米の栽培エリアの北上化を具体的に検討する。	
環境1		★	上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記載）	✓		仕入原料の安定確保が困難になる。		
環境1		★	上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている	✓		主原料である酒米は高温障害により、収穫量の減少や、お酒の発酵時点でのお米の溶解度の低下（お酒の歩留まりの低下）につながっており、気候変動によるリスクは大きい。		
環境1			上記リスクへの対策を進めている					
環境1			自然環境の変化による機会について分析している					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
環境2	社会・制度の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策②】		○	分析・検討内容を記載		
環境2		★	リスクを特定している（気候変動による社会・制度に関する4種類のリスク：政策・法規制、技術、市場、評判）	✓		炭素税の導入による、費用負担増の懸念。	製造メーカーとして生産量の増加を目指しながらも、脱炭素の取組みを検討する。	製造メーカーとして生産量の増加を目指しながらも、脱炭素の取組みを検討する。
環境2		★	上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記載）	✓		上記の通り。		
環境2		★	上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている	✓		排出権取引などの導入を検討。		
環境2			上記リスクへの対策を進めている					
環境2			社会・制度の変化による機会について分析している					
環境3	自社の事業活動が引き起こす影響		【環境負荷リスクの分析・対策】		-	分析・検討内容を記載		
環境4	燃料消費量の可視化と削減 (Scope1)		【カーボンニュートラル①<省エネ>】		○			
環境4		★	[KPI] Scope1のCO2排出量	✓		3,348 tCO2	3,000 tCO2	設備の熱排出の再利用を検討する。
環境4			専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている				CO2削減の具体策を実行する。	【1年目】 ・まず排出CO2を把握する。 【2年目】 ・CO2削減の具体策を検討する。 【3年目】 ・CO2削減の具体策を検討する。
環境4		省エネ設備（高効率ボイラ等）の導入・更新を行っている	✓		重油ボイラから、高効率ガスボイラに切り替えている。			
環境4		EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を可視化やエネルギー運用の効率化を行っている						
環境4		CO2総排出量削減のため燃料を電気や都市ガスへ切り替えている						
環境4			燃料消費量低減につながる設備等の運転を行っている	✓		使用していない時間は、こまめにボイラのスイッチを切るなど、行っている。		
環境4			その他					
環境5	電力消費量の可視化と削減 (Scope2)		【カーボンニュートラル②<省エネ>】		○			
環境5		★	[KPI] Scope2のCO2排出量	✓		187,200 kg-CO2	160,000 kg-CO2	節電マニュアルの作成を検討する。
環境5			専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている				節電マニュアルを作成し、社内徹底する。	【1年目】 ・節電マニュアルの作成を検討する。 【2年目】 ・節電マニュアルの作成を検討する。 【3年目】 ・節電マニュアルを作成する。
環境5		省エネ設備（LED照明、高効率空調等）の導入・更新を行っている	✓		酒蔵内など、都度LEDに切り替えている。			
環境5		EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を可視化やエネルギー運用の効率化を行っている						
環境5		省エネに対応した建物改修を行っている						
環境5			節電マニュアルを作成し実践している	✓		節電マニュアルは無いが、部署ごとに勤務時間の効率化を徹底するなど、節電に繋がる取組みをしている。		
環境5			その他					
環境6	再生可能エネルギーの導入		【カーボンニュートラル③<創エネ>】		-			
環境7	廃棄物の削減		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○			
環境7		★	[KPI] 総廃棄物発生量（※産業廃棄物だけでなく事業系一般廃棄物等も含む）	✓		年間廃棄物発生量：30トン/年	20トン/年	無駄な資材を仕入れない。
環境7			事業別、事業所別の廃棄物排出量について、インバクトの大きな内訳を把握・分析している	✓		事業による副産物の再利用を進めているものの、酒粕、米糠等の廃棄物は0にはなっていない。今後なるべく廃棄物を減らすよう、再利用方法を常に検討していく。	製造時に発生する副産物の廃棄0kgを目指す。	【1年目】 ・酒粕、米糠の再利用方法を模索する。 【2年目】 ・酒粕、米糠の再利用方法を模索する。 【3年目】 ・酒粕、米糠の再利用方法を具体的に決定し、実行する。
環境7		廃棄物削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている						
環境7		フードバンクやフードドライブ、フードシェアリングなどにより食品廃棄物削減を推進している						
環境7		調達・設計・製造段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている	✓		製造段階で、廃棄物をできるだけ出さないよう、再利用業者がないかどうか、取引銀行へ地元事業者へのヒアリングを求めするなど、常に再利用先を探している。			
環境7			製品・サービスの提供段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている	✓		日本酒製造の副産物である酒粕を廃棄することなく、コラボ商品開発を進めている。具体的に酒粕ラーメン、酒粕チョコ、など。		
環境7			廃棄物を資源として再利用することを事業実施上の仕組みとして取り入れている			ウイスキー製造時に発生する麦芽粕は、畜産業に全量買い取っていただき、廃棄物は0kg。		
環境7			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
環境8	水資源の適正な管理		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○			
環境8		★	[KPI] 年間使用量	✓		12,000m ³	11,000m ³	使用した水の回収方法を検討する。
環境8			事業別、事業所別の使用量について、インバクトの大きな内訳を把握・分析している				洗米に使用した水の浄化方法、その後の利用方法を確立する。	【1年目】 ・酒米の洗米などに使用する水の再利用を考える。 【2年目】 ・酒米の洗米などに使用する水の再利用を考える。 【3年目】 ・洗米に使用した水の回収方法を考える。
環境8		水使用量削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている	✓		蒸留に使用する水の循環システムを含め、年間の水使用量削減の計画を立てている。			
環境8		水質汚濁防止法等に基づき、排水の水質等について、適正な管理・運用を行っている						
環境8		工場内等で水を循環利用するための施設を整備している	✓		2023年8月、蒸留に必要な冷却水を循環するシステムを構築し、設備投資済。基本的に排水せずに、水を冷却して蒸留時の冷却に再利用している。			
環境8			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
環境9	環境配慮型商品・サービスの提供				-			
環境10	環境面での社会貢献		※ビジネスとしての活動は環境9に記載		-			
環境+			※環境1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			